

国際ロータリー第2600地区

上田六文銭ロータリークラブ

2019-20年度
国際ロータリー会長
マーク・ダニエル・マローニー氏
第2600地区ガバナー 古川 静男

- 会長 宮澤 広一 ●幹事 北村 久文
- 会報委員長 西澤 文登 ●副委員長 松澤 一志
- 委員 宮原 宏一 合原 亮一



ロータリーは
世界をつなぐ
Rotary Connects The World

【事務局】
〒386-0025 長野県上田市天神4-24-1
上田東急REIホテル 3F
TEL.0268-25-6000 FAX.0268-25-6002
<http://www6.ueda.ne.jp/~ueda6rc/>
【例会日】毎週火曜日12:30~13:30
【例会場】上田東急REIホテル 2F
【創 立】1997年2月18日



会員卓話

有機農業と環境問題

(株)ガリレオ 代表取締役

合原 亮一君



入会させていただいて、やっと1年が過ぎました。今日は私のこと、やっているガリレオのことなどお話をさせていただこうと思うのですが、色々不思議なことをやってきてるものですから、最近やっていることを中心にお話しさせていただきます。

自己紹介ですが、ここから複雑でして、広島生まれですが、小学校位から東京、就職して神戸、アメリカでも何箇所か引っ越して、24年前にアメリカから上田に引っ越してきました。小学校1年の頃は学期ごとに転校して、前の東京オリンピックの年だったものですから、記録映画を3回観させられるという経験をしています。経歴の詳細はお配りした紙をご覧ください。

なぜ上田に住むようになったのか、ガリレオをやっているのか、ガリレオの紹介、今力を入れていることなどをお話しします

なぜ上田に住むようになったのかですが、それにはなぜアメリカに行ったのか、からお話ししなければなりません。1986年のチェルノブイリ原発事故あたりから影響しているんですが、1988年に地球環境問題、つまり今の温暖化問題があることを知りました。で、調べてみますと、日本語の資料が皆無でした。語学は嫌いだったので、海外の文献は読めないんですね。単純な人間なので、英語圏に引っ越ししかないと考えました。会社でアメリカに出してもらったら、ワールドウォッチ研究所のレスター・ブラウンが『誰が中国を養うのか?』なんて本を出したわけです。温暖化も食糧問題も根は同じで、人間の活動がどこで地球の容量を超えるかという話です。日本は食料自給率が低いので、食料需給の逼迫の方がリスクが大きいかも、と思いました。それで大学院に行って食糧供給力のグローバルモデルを書きました。結論だけお話ししますと、技術的進歩でも食料問題は解決しないけど、最大の制約条件は水の賦存量だということがわかりました。

日本は水資源が豊富なので、とりあえずは大丈夫ですが、自給率が低すぎるので、輸入が厳しくなった場合の対応を考えておかなければなりません。実際に食料が逼迫すれば、みんな自分で食料を作り始めるでしょう。だから家事としての農業のモデルを開発しておく必要があるな、と思いました。自分でやってみないと理解できないので、



クラブテーマ「ロータリアンであることに魅力を感じよう!!そして、更に魅力ある六文銭ロータリークラブへ」



家事としての農業やってみよう、となりました。有機農法の師匠に相談したら、彼と同じ上田を勧められたので、アメリカから上田に落下傘降下してきました。

では何でガリレオをやっているのか。農業をやるのではなかったのか、ということになります。実は帰国した 1996 年当時は農地取得が非常に難しかったので、その年は日本のインターネット元年にあたり、いろいろ経緯があって、帰国の年からアメリカで毎日新聞のバーチャル特派員として、毎日記名記事を書いていた。インターネットは元々アメリカの大学を繋ぐために作られた仕組みなので、大学で研究やっていれば誰でも使っているのですが、それで日本では「先生」という時代でした。

上田に引っ越して、署名が、「合原亮一ニューハンプシャーUSA」から、「合原亮一上田日本」になったのを、ガリレオ初代社長の赤木順彦が気がついて、「上田に合原という苗字は珍しいから、電話局に聞けば連絡が着く」と考えて「仕事を手伝って欲しい」とコンタクトしてきました。ガリレオもまだ法人になりたてのひとり会社だったのですが、農業を始めるのに時間がかかりそうだったので、手伝っているうちに赤木が亡くなりました。その頃は社員も 10 人ぐらい、在宅スタッフも 100 人ぐらいいたため、皆さんのために誰か継がなければ、ということで、私が社長に就任することになりました。

ガリレオの概略は会社案内に載っています。ガリレオは、インターネット上に会社を構築する、という理念で始まった会社です。マシンとネットさえあれば、どこにいても仕事ができる、という環境を作ってきました。ニュース翻訳というビジネスを生み出したのもガリレオです。

サポートは、システムの裏側を人で支える仕事で、ドコモさんのニュースシステムとか運営しています。逆に表に人がいて裏側をシステムで支えているのが、学会業務で、学術協会などの事務局運営を受託しています。自然エネルギーは、このパンフレットの、ソーラーシェアリングを中心に、太陽光発電システムを設置しています。サポート・翻訳のほとんどに社員はいません。開発も在宅で仕事をしている人が結構います。学会と自然エネ

ルギーは社員中心です。

サポート業務は、今後は自動化に向かう分野だと思っています。学会業務は 10 年やってきて、やっとビジネスになりそうです。今力を入れているのは、ソーラーシェアリングの営業と IoT の開発です。実はソーラーシェアリング・システムも IoT 駆動の太陽追尾型で動いています。昨年が 4 年目で、やっと損益分岐点を超えました。IoT は上田ケーブルビジョンさんと LoRaWAN プラットフォームを構築中です。3 月までには環境が整う予定です。ガリレオではその上で、農業 IoT のサービスを提供するための研究開発を進めているところです。

ガリレオに限らず、私がこれからやっていきたいこととお話します。

まず有機農業ですが、米作りは綿マルチを全面に張るお布団農法です。鶏も 100 羽位飼っていて、餌の半分は自分が食べているのと同じ有機米。7 割ぐらいは有機の餌なので、多分日本で何番目に安全でおいしい卵だと思います。当初の目標の家事型農業はだいたいモデル化できました。今はソーラーシェアリングと組み合わせた、標準的な農法を確立したいと思っています。

次は自然エネルギーですが、福島原発事故ですごく反省しまして、その年のうちに NPO と自然エネルギーの市民共同設置事業「相乗りくん」を立ち上げました。この経緯も面白い話が沢山あるのですが、それはまたの機会ということで。個人の力というかお金を集めて設置しているのでなかなか進みませんが、今年か来年には 1MW に到達すると思います。環境大臣賞もいただきました。

相乗りくんと並んで力を入れているのがソーラーシェアリングです。1 号機の架台は単管です。ソーラーシェアリングは、土地を農業と発電の二階建てで活用する仕組みです。農地からの収入が何倍にもなるので、農業問題とエネルギー問題を一挙に解決します。お布団農法とも慣行農法とも相性が良く、農林水産省のガイドブックにも優良事例として取り上げてもらっています。

3 号機は架台もアルミになり、大分進歩しました。去年の 1 月完成です。去年はこのあと 3 カ所に設置しました。こんな風に綿マルチを敷くので、柱があってもあまり邪魔になりません。日本は平



地が少ないので、ソーラーシェアリングが脱炭素社会を実現する一番の近道です。設置すれば儲かるので、普及させたいのですが、認知度が低いのが悩みです。皆さんにご協力いただければと思います。

できるかどうか謎ですが、次は地域新電力を立ち上げたいと思っています。動機は上田という地域を、少子高齢化時代を乗り越えられる、持続可能な地域にすることです。だから本当は、地域新電力も包摂した、ドイツのシュタットベルゲのような、行政と個人で作る協同組合を作りたいのです。

まず私にとっては、どうやって自然エネルギーを増やすかが、最初の命題です。でもヨーロッパでは結構できています。例えばデンマークはすでに電力の半分は自然エネルギーで、日によっては100%を超えています。ドイツも4割以上です。日本は17.4%(2018年)ですが、半分弱は昔からある大規模水力で、本当の意味の自然エネルギーはまだ10%もありません。日本の国際公約は2030年までに26%削減という非常に低いものなんですけど、あと10年でこれを5倍にしないと低い国際公約も達成できません。どうすればいいかというと、実はデンマークやドイツで自然エネルギーを増やしているのは個人の出資です。なぜ出資するか。それは儲かるからです。

シュタットベルゲやエネルギー協同組合が、個人の出資を集めて自然エネルギーを増やして、儲けたお金を個人に還元しています。日本の法制度ではエネルギー協同組合は制度化されていません。市民信託で作れないか考えたいと思っています。まずは地域新電力からでしょうか。海外ではエネルギー事業で利益を上げて、公共交通などの不採算サービスを支えています。上田市にも働きかけてセミナーを共催したりしていますが、事業化となるとなかなか進みません。でも、上田を何とかするには、行動が必要です。上田の30年計画ぐらい作るしかないか、と考えているところです。皆さんのご協力をお願いしたいと思います。

会長エレクト挨拶

別所線署名ご協力に感謝！

会長エレクト 中澤 信敏君



本日、宮澤会長より電話があり急遽会長に替わりお話しさせていただきました。

過日新春合同例会は皆様お疲れ様でございました。私は初めてソングリーダーを務めさせて

いただきましたが、皆様におきましては見苦しい姿をご覧いただくことになりまして申し訳ございませんでした。準備8割を怠りまして、最後には東御RCの白鳥先生に助けをいただき、やはり準備をしておけば良かったと反省しました。

さて、先般23日に皆さんにご協力いただきました別所線の鉄橋を早期復旧させたい署名の贈呈を上田市長さん、議長さん宛てに行っていました。

今回の件は、台風19号の影響で鉄橋が崩落して間もなく、我々民間側でその状況を見てそれぞれが早く橋を掛けなければならないという気持ちの元で署名運動を始めたわけです。

この署名には、別所線にゆかりのある団体・有志、ロータリーや商工会議所、インターネットなどから寄せていただき、10,552筆の署名をいただきました。あと、自治会の回覧を通じて集めた署名が43,546筆あり、合計で54,098の署名をいただきました。

このタイミングは、新聞などでご覧いただいているかと思いますが、国からの補助金として97.5%が出るお話しがあり、それを上田市、市議会が受け入れるかどうかの判断をする前日に署名を提出させていただきました。新聞報道的には国からの補助金を利用して復旧するような書き方がしてあるタイミングでしたが、多くの皆さんの希望として橋を架け直していただきたいと提出して参りました。

ただ、署名を提出しましたが今回の鉄橋の修復と維持には、税金を投入されることになるため、今後は沿線とその周辺の活性化をしながら別所線の活用を目指さなければなりません。これは、行政や上田電鉄さんだけに任せるのではなく、民間、企業、行政それぞれで話をしながらまちづくりとして取り組む必要があると思っています。



幹事報告



幹事
北村 久文君

1. RI より
 - ・ the rotarian 2月号
 - ・ 復興フォーラムのご案内
2. 米山奨学会より
 - ・ 12月の寄付金傾向
3. 地区事務所より
 - ・ R財団寄付金明細表
4. 日本経済調査協議会より
 - ・ シンポジウムのご案内
5. 大浅間ゴルフクラブより
 - ・ 春季プレー料金のご案内

全会員配布物

1. 当クラブ会報 1048号

出席・ニコニコBOX報告

吉田 穰君

	ベース	欠席	メイク	出席率
本日	25	5	0	80.00%
前々回	26	1	0	96.15%

中澤信敏君 今日急遽会長代行です。合原さんよろしくお願ひします。

西澤尚夫君 合原さん、お話楽しみにしています。

合原亮一君 今日ドキドキしています。よろしくお願ひします。

肥田野秀知君	笠原 一洋君	柄澤 堯君
北村 久文君	小嶋 修一君	松澤 一志君
宮原 宏一君	水野 泰雄君	西澤 文登君
斉藤恵理子君	杉山 裕君	吉田 穰君
飯島 伴典君		

例会日報

□司 会	渡邊 章貴君
□開会点鐘	中澤 信敏君
□斉 唱	我等の生業

□ラッキー賞

提供者 西澤 尚夫君

沖縄土産



北村久文君 吉田 穰君

新春合同例会縁起物

親睦会場委員会 宮原宏一君

『皆様のご協力のおかげで無事合同例会を成功させることができました。皆様にも福が来ますように』



笠原一洋君 松澤一志君 横沢正君 中澤信敏君

2020-21年度 地区役員 委嘱状



次年度地区役員 横沢正君 柄澤 堯君へ松澤ガバナー補佐より委嘱状が授与されました。